

「千葉県オレンジ連携シート」の利用状況等に関するアンケート結果

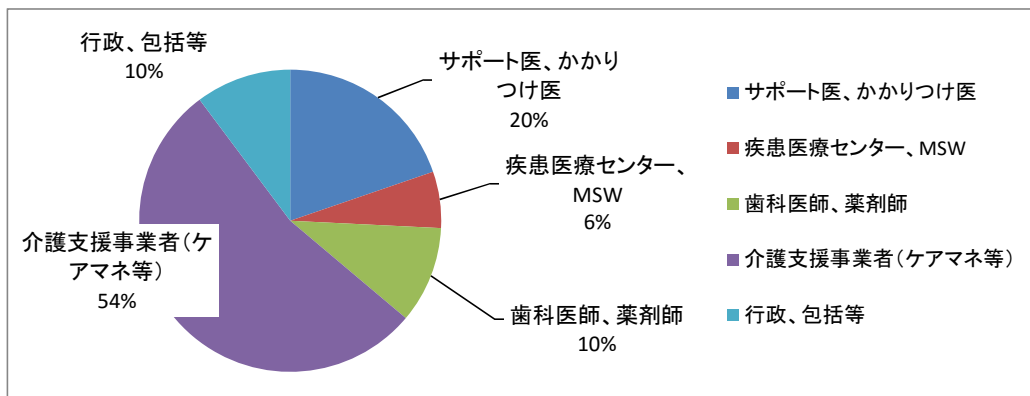
実施期間： H30.11.22～H30.12.25

- 調査対象： ① 認知症サポート医、かかりつけ医認知症対応力向上研修修了者（以下「サポート医等」）
 ② 認知症疾患医療センター、千葉県医療ソーシャルワーカー協会会員（以下「MSW等」）
 ③ 歯科医師認知症対応力向上研修修了者、薬剤師認知症対応力向上研修修了者（以下「薬剤師等」）
 ④ 居宅介護支援事業者（以下「ケアマネ等」）
 ⑤ 市町村、地域包括支援センター、中核地域生活支援センター（以下「行政等」）

回答数： 1,575件（回答率40.8%） （ ① 311 ② 95 ③ 163 ④ 845 ⑤ 161 ）

【回答数及び回答率について】

	サポート医、 かかりつけ医	疾患医療セ ンター、MSW	歯科医師、薬 剤師	介護支援事業 者(ケアマネ等)	行政、包括等	合計
対象者数(人)	1000	310	386	1920	240	3856
回答者数(人)	311	95	163	845	161	1575
回答率(%)	31.1	30.6	42.2	44.0	67.1	40.8
全体を占める割合(%)	19.7	6.0	10.3	53.7	10.2	100.0



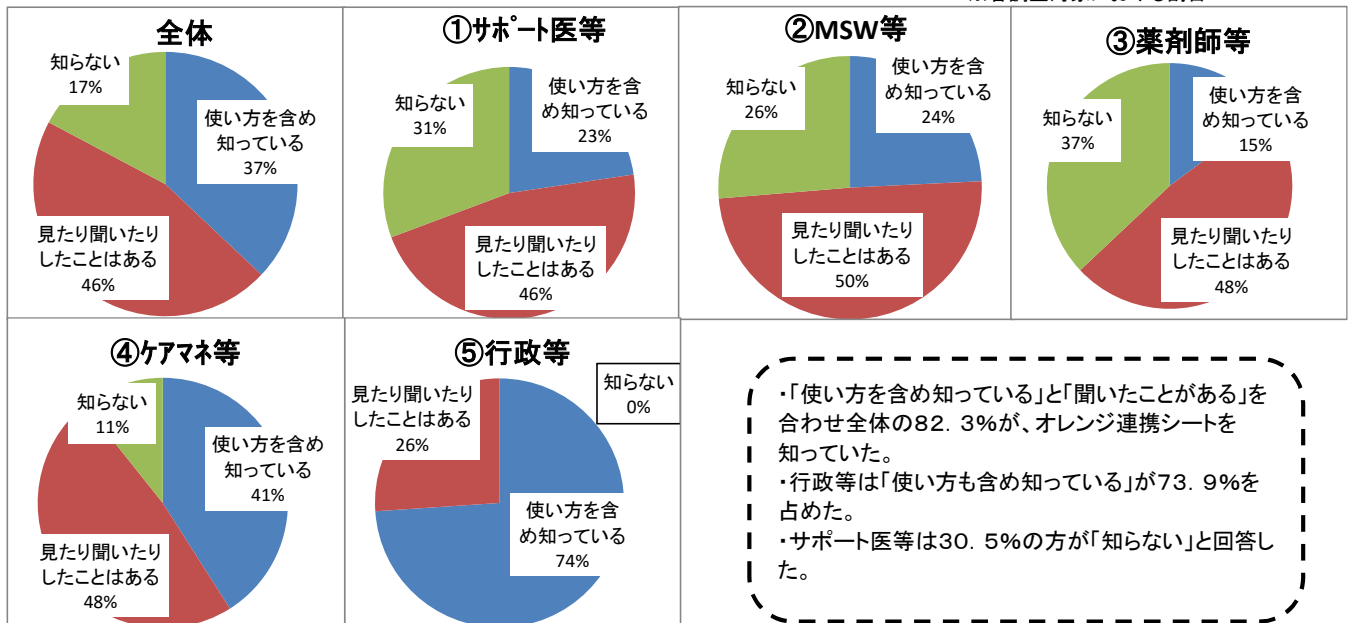
・ケアマネ等の介護支援事業者の回答数が最も多く、次いでサポート医及びかかりつけ医からの回答が多かったが、回答率で見ると行政等が最も高かった。

調査結果：

1 シートの認知度

	全体		①サポート医等		②MSW等		③薬剤師等		④ケアマネ等		⑤行政等	
使い方を含め知っている	580	36.8%	70	22.5%	23	24.2%	24	14.7%	344	40.7%	119	73.9%
見たり聞いたりしたことはある	716	45.5%	144	46.3%	47	49.5%	78	47.9%	405	47.9%	42	26.1%
知らない	270	17.1%	95	30.5%	25	26.3%	60	36.8%	90	10.7%	0	0.0%

※各調査対象における割合



2 シートの使用度（複数選択可）

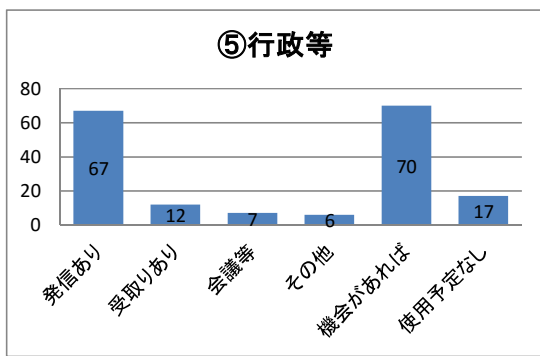
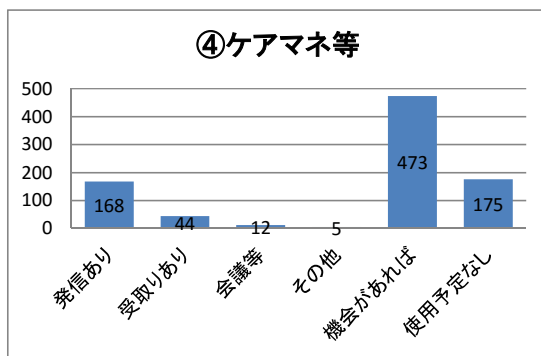
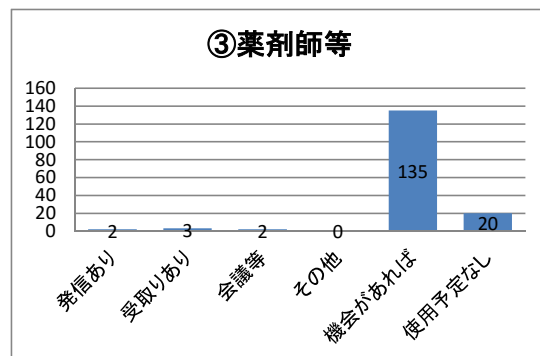
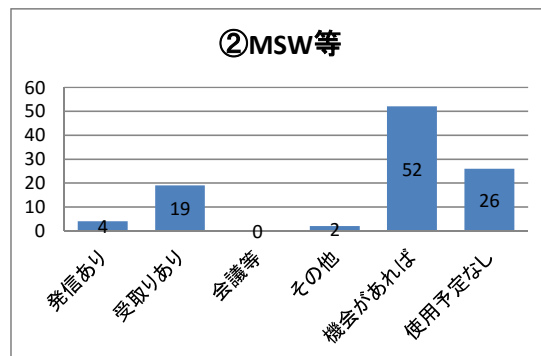
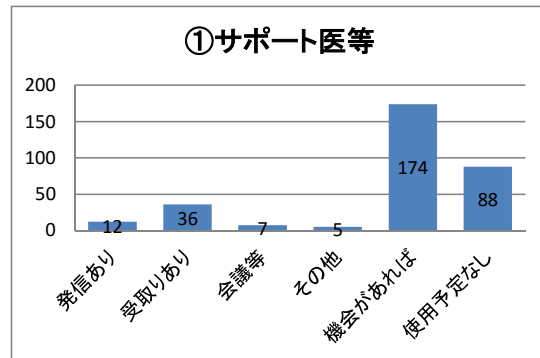
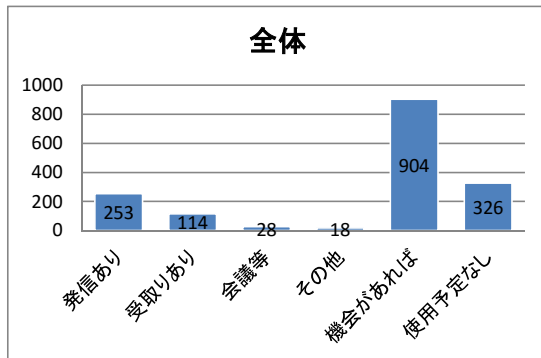
	全体		①サポート医等		②MSW等		③薬剤師等		④ケアマネ等		⑤行政等	
(1)発信したことがある	253	15.4%	12	3.7%	4	2.1%	2	1.2%	168	19.2%	67	37.4%
(片道):回数	551	—	16	—	21	—	3	—	349	—	162	—
(双方):回数	163	—	7	—	0	—	0	—	103	—	53	—
(2)受取ったことがある	114	6.9%	36	11.2%	19	10.6%	3	1.9%	44	5.0%	12	6.7%
(片道):回数	207	—	78	—	66	—	5	—	52	—	6	—
(双方):回数	254	—	61	—	143	—	0	—	38	—	12	—
(3)会議等で使用したことがある	28	1.7%	7	2.2%	0	0.0%	2	1.2%	12	1.4%	7	3.9%
回数	48	—	15	—	0	—	2	—	21	—	10	—
(4)その他の使い方をしている	18	1.1%	5	1.6%	2	1.9%	0	0.0%	5	0.6%	6	3.4%
(5)機会があれば使いたい	904	55.0%	174	54.0%	52	50.5%	135	83.3%	473	53.9%	70	39.1%
(6)今後も使用予定はない	326	19.8%	88	27.3%	26	25.2%	20	12.3%	175	20.0%	17	9.5%

※本質問の各回答数における割合

※(4)その他の使い方

- ・認知症初期集中支援チームの事例書式等として使用
- ・問診票として使用

等

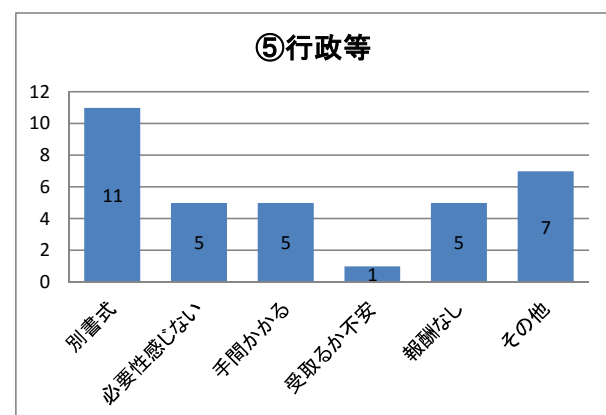
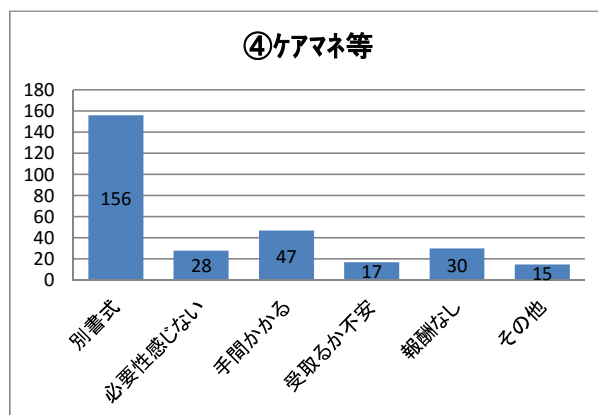
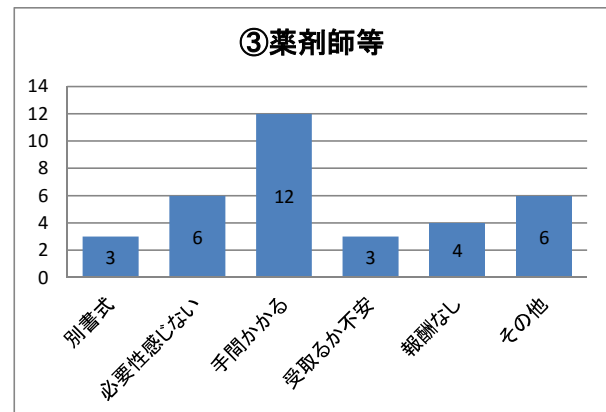
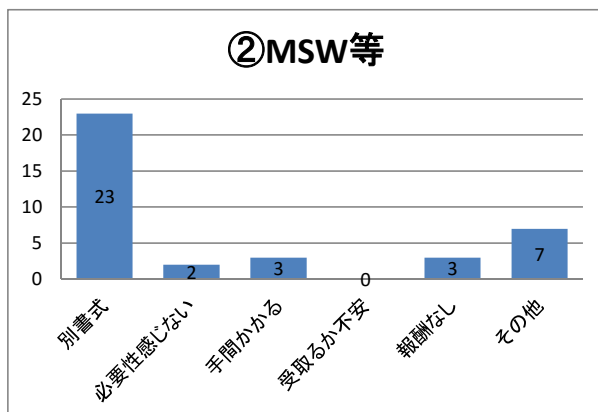
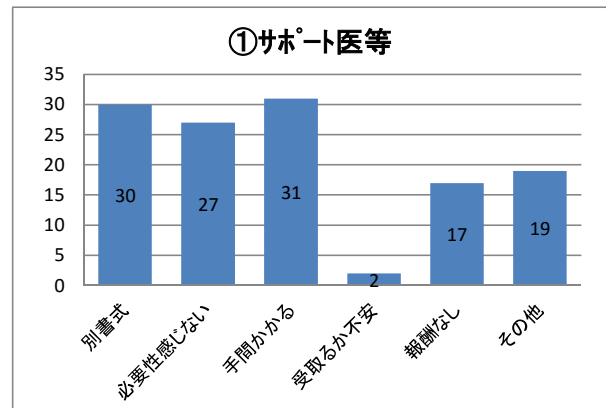
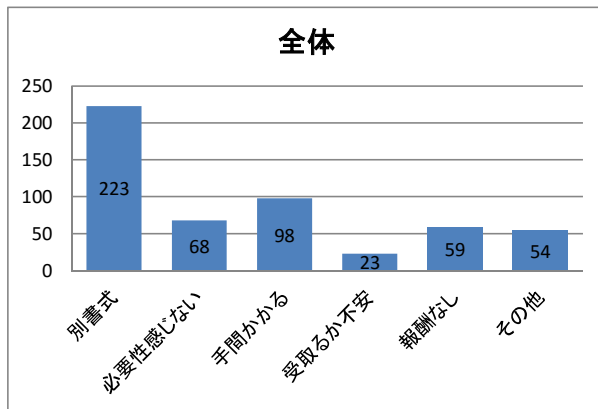


- ・「発信したことがある」と回答した割合は行政等が37.4%で最も高く、次いでケアマネ等が19.2%だった。
- ・「受け取ったことがある」は、サポート医等が11.2%と最も高く、次いでMSW等が10.6%だった。
- ・「会議等で使用したことがある」と「その他の使い方をしている」は、行政等が最も高く両者を合わせると7.3%だった。
- ・「機会があれば使いたい」は歯科医・薬剤師が83.3%と最も高く、次いでサポート医等が54%だった。
- ・「今後も使用予定はない」は、サポート医等が27.3%と最も高かった。

(6)使用しない(困難)理由(複数選択可)	全体		①サポート医等		②MSW等		③薬剤師等		④ケアマネ等		⑤行政等	
別の書式を使用している	223	42.5%	30	23.8%	23	60.5%	3	8.8%	156	53.2%	11	32.4%
シートによるやり取りの必要性を感じない	68	13.0%	27	21.4%	2	5.3%	6	17.6%	28	9.6%	5	14.7%
記入が困難、手間がかかる	98	18.7%	31	24.6%	3	7.9%	12	35.3%	47	16.0%	5	14.7%
受取ってもらえるか不安がある	23	4.4%	2	1.6%	0	0.0%	3	8.8%	17	5.8%	1	2.9%
診療・介護報酬がつかない	59	11.2%	17	13.5%	3	7.9%	4	11.8%	30	10.2%	5	14.7%
その他	54	10.3%	19	15.1%	7	18.4%	6	17.6%	15	5.1%	7	20.6%

※本質問の各回答数における割合

その他	理由
その他	・やり取りに時間がかかるので、必要時には電話をして相談や情報の共有を行っています。
	・電話などのやり取りで済む事が多いため。
	・活用したくても様々な書類が増えていばかりで書類作成する時間が足りない。
	・医療機関からの返信がすぐに来ない可能性が高いので書式ではなく電話や面会で行っていることが多い。
	・本人への説明・同意が必要なのが困難と思われる
	・すでに地域での連携が取れている。



・地域生活連携シートや診療情報提供書、サマリー等の「別の書式を使用している」が42.5%と最も高く、次いで「記入が困難、手間がかかる」が18.7%、「必要性を感じない」が13%と続いた。

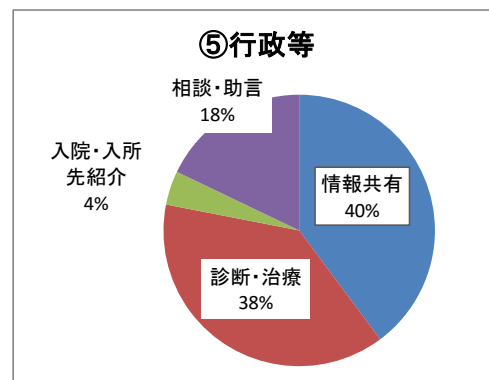
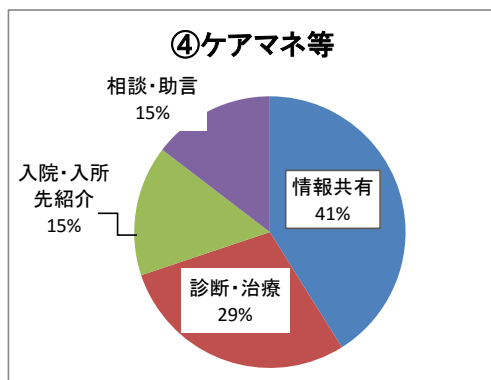
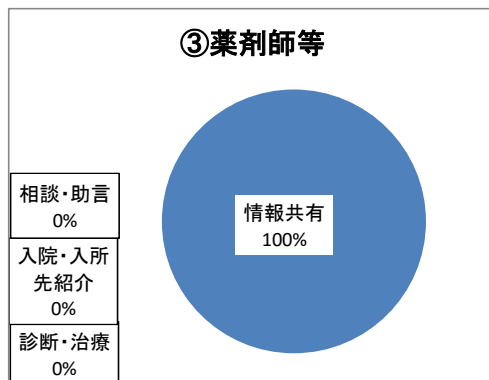
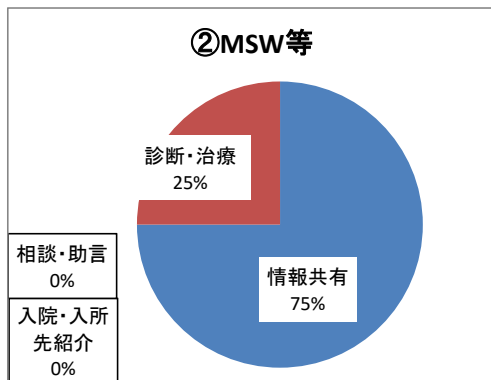
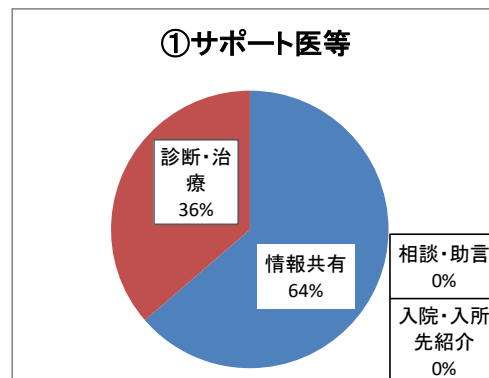
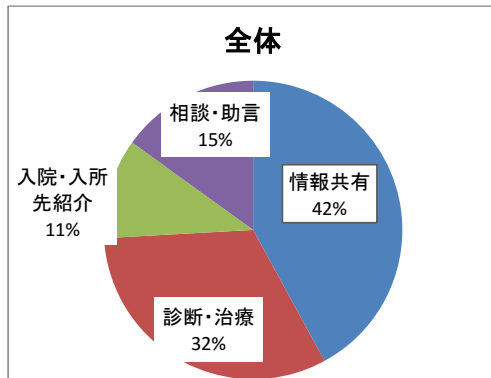
・「必要性を感じない」と回答した割合が最も高かったのはサポート医等で21.4%だった。

・「診療・介護報酬がつかない」は全体の11.2%に留まった

3 「2 発信したことがある」と回答した人のうち、発信の主な目的及び主な受信者(相手方) (複数選択可)

発信の主な目的(複数選択可)	全体	①サポート医等	②MSW等	③薬剤師等	④ケアマネ等	⑤行政等
情報共有	151 42.5%	7 63.6%	3 75.0%	2 100%	90 41.1%	49 39.8%
回数	128 回	5 回	2 回	2 回	75 回	44 回
主な受信者(相手方)	医療機関、医師、MSW、ケアマネ、包括等	ケアマネ、医師、包括等	包括	医療機関、医師、ケアマネ	医療機関、医師、MSW、包括等	医療機関、医師、MSW、市役所等
診断・治療依頼	115 32.4%	4 36.4%	1 25.0%	0 0.0%	63 28.8%	47 38.2%
回数	106 回	4 回	1 回	0 回	58 回	43 回
主な受信者(相手方)	医療機関、医師、MSW、ケアマネ、市役所等	医療機関、ケアマネ	薬局	—	医療機関、医師、MSW、ケアマネ等	医療機関、医師、MSW、市役所等
入院・入所先の紹介依頼	39 11.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	34 15.5%	5 4.1%
回数	35 回	0 回	0 回	0 回	31 回	4 回
主な受信者(相手方)	医療機関、医師、MSW、デイサービス等	—	—	—	医療機関、医師、MSW、ケアマネ等	医療機関、医師
相談・助言	54 15.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	32 14.6%	22 17.9%
回数	45 回	0 回	0 回	0 回	26 回	19 回
主な受信者(相手方)	医療機関、医師、MSW、包括等	—	—	—	医療機関、医師、MSW等	医療機関、医師、MSW、包括等

※ 本質問の各回答数における割合



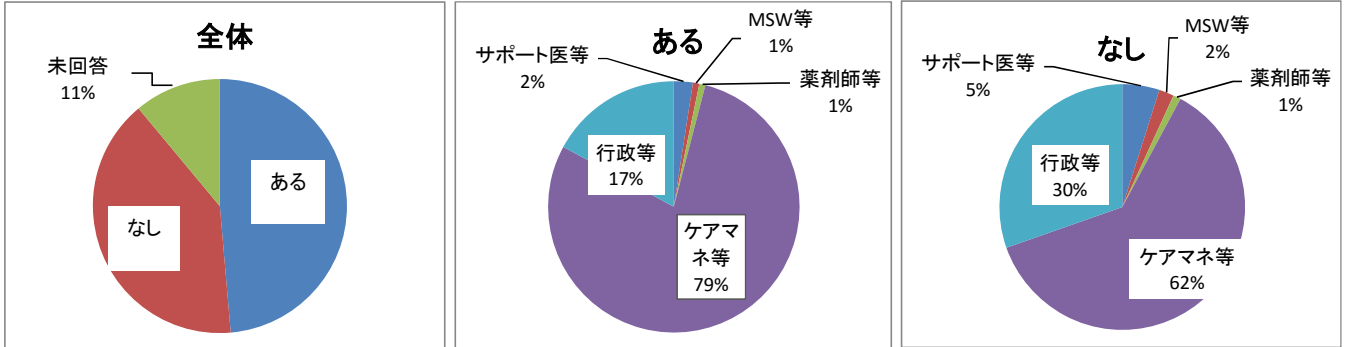
- ・「情報共有」を目的に発信しているが42.5%と最も多く、次い32.4%で「診断・治療依頼」が多かった。
- ・「入院・入所先の紹介依頼」は、11%で最も少なかった。

4 「2 発信したことがある」と回答した人のうち、双方向(返信要)シートの発信有無

	全体		①サポート医等		②MSW等		③薬剤師等		④ケアマネ等		⑤行政等	
ある	123	48.6%	3	25.0%	1	25.0%	1	50.0%	97	57.7%	21	31.3%
なし	102	40.3%	5	41.7%	2	50.0%	1	50.0%	63	37.5%	31	46.3%
未回答	28	11.1%	4	33.3%	1	25.0%	0	0.0%	8	4.8%	15	22.4%

※ 『2 使用度』の「(1) 発信あり」における割合

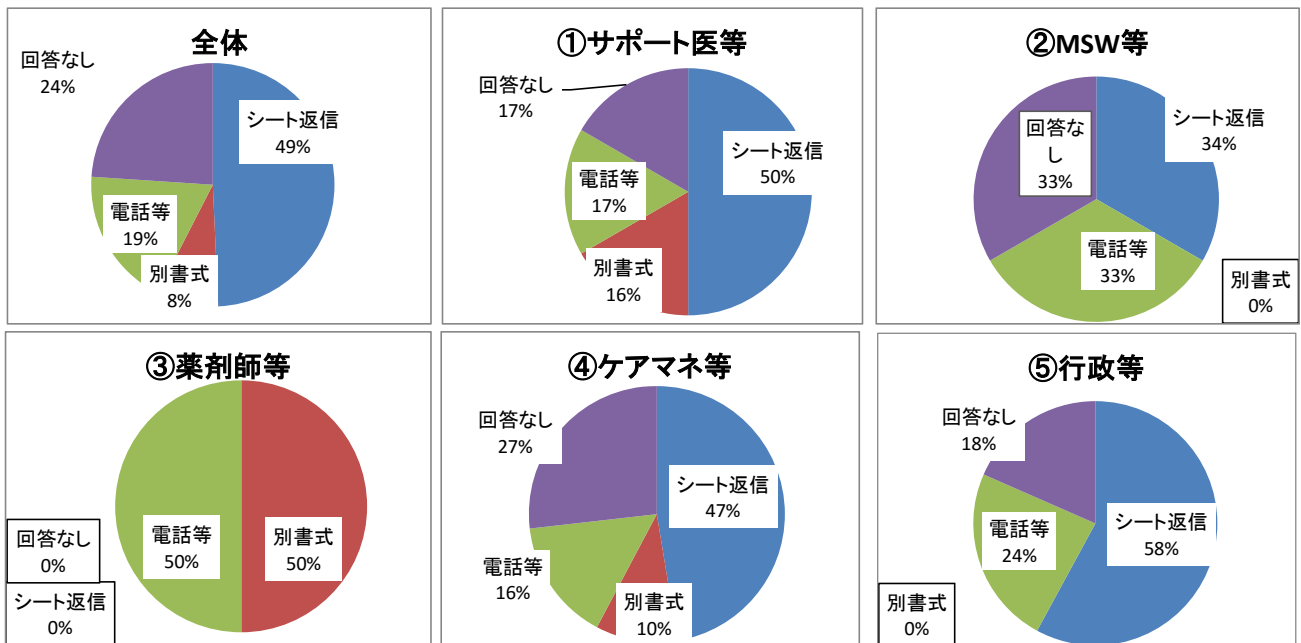
・「ある」と回答した割合は、ケアマネ等が57.7%と最も高く、次いで薬剤師等が50%、行政等31.3%と続いた。



5 「4 双方向(返信要)シートの発信あり」の内、相手からの返信有無 (複数選択可)

相手からの返信(複数選択可)	全体		①サポート医等		②MSW等		③薬剤師等		④ケアマネ等		⑤行政等	
(1)シート返信欄に記載し返信された	72	49.3%	3	50.0%	1	33.3%	0	0.0%	46	47.4%	22	57.9%
回数	69回		2回		1回		0回		44回		22回	
主な受信者(相手方)	医療機関、医師、ケアマネ、MSW、包括等		医療機関、ケアマネ		包括		—		医療機関、医師、MSW、ケアマネ、看護師		医療機関、医師、MSW、包括	
(2)診療情報提供書等別書式で回答があった	12	8.2%	1	16.7%	0	0.0%	1	50.0%	10	10.3%	0	0.0%
回数	11回		1回		0回		1回		9回以上		0回	
主な受信者(相手方)	医療機関、看護師、ケアマネ、医師等		医師		—		—		医療機関、看護師、ケアマネ等		—	
(3)電話等により回答があった	27	18.5%	1	16.7%	1	33.3%	1	50.0%	15	15.5%	9	23.7%
回数	26回		1回		1回		1回		14回		9回	
主な受信者(相手方)	医療機関、医師、MSW、ケアマネ等		ケアマネ		包括、薬局		未記入		医療機関、医師、MSW等		医療機関、医師、MSW、PSW	
(4)回答がなかった	35	24.0%	1	16.7%	1	33.3%	0	0.0%	26	26.8%	7	18.4%
回数	18回		1回		1回		0回		13回		3回	
主な受信者(相手方)	医療機関、医師、包括		未記入		包括		—		医療機関、医師		医療機関	

※ 本質問の各回答数における割合

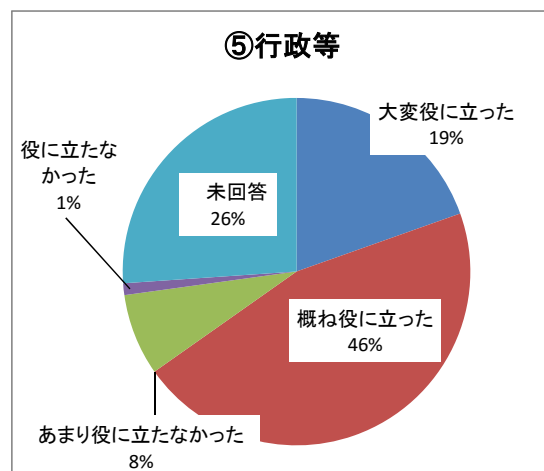
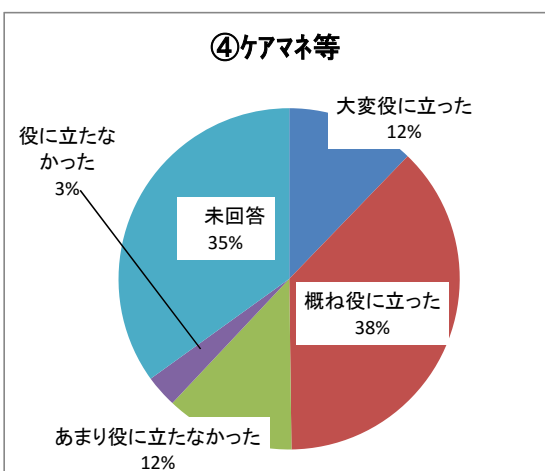
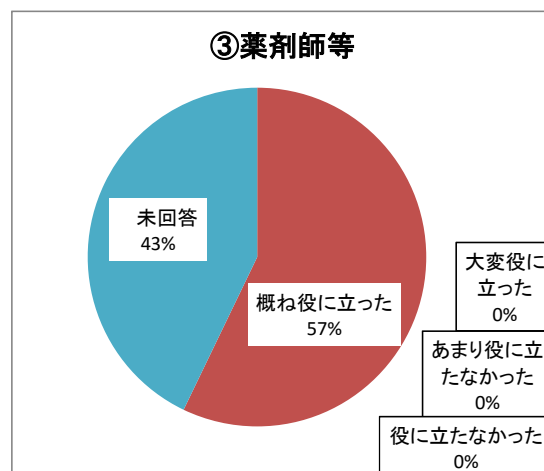
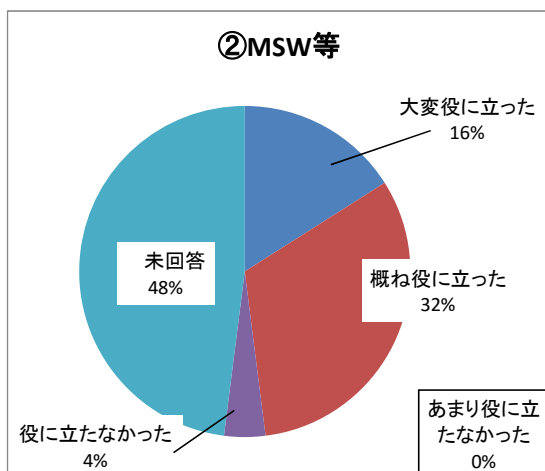
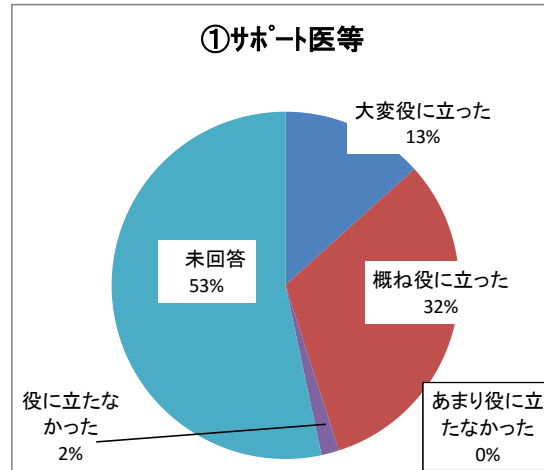
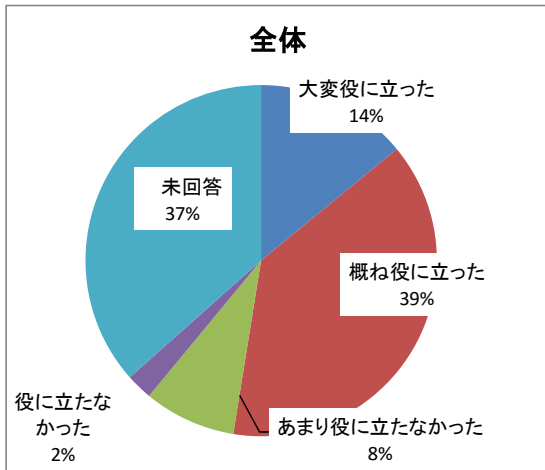


・「シート返信欄に記載し返信された」が49.3%と最も高く、次いで「回答がなかった」が24%、「電話等により回答があった」が18.5%と続いた。

6 有用性

円滑な支援や関係づくりに役立ったか	全体		①サポート医等		②MSW等		③薬剤師等		④ケアマネ等		⑤行政等	
大変役に立った	58	14.0%	8	13.3%	4	16.0%	0	0.0%	28	12.2%	18	19.6%
概ね役に立った	159	38.5%	19	31.7%	8	32.0%	4	57.1%	86	37.6%	42	45.7%
あまり役に立たなかった	35	8.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	28	12.2%	7	7.6%
役に立たなかった	10	2.4%	1	1.7%	1	4.0%	0	0.0%	7	3.1%	1	1.1%
未回答	151	36.6%	32	53.3%	12	48.0%	3	42.9%	80	34.9%	24	26.1%

※ 『2 使用度』の(1)～(4)における割合



・「概ね役立った」と「大変役に立った」を合わせ、全体の52.5%が有用と回答している。対象者別にみると行政等は最も高く、合わせると65.3%を占めた。

・「あまり役に立たなかった」と「役に立たなかった」は合わせて10.9%だった。対象者別にみるとケアマネ等の割合が最も高く15.3%だった。

7 役に立った例

- ・返信により、医療機関(主治医、かかりつけ医)からの助言、コメントが把握でき、支援方針に役立てられた。
- ・外来受診の際、本人の前で詳細な症状を医師に伝えられないため、先方に先にシートを渡しておくことで問診がスムーズになった。
- ・患者の情報を医療機関に伝えやすく、受診時困っていることについて医師から具体的に説明を受けることができた。
- ・車の事故を起こすリスクの高い方について、事前に病院の相談員に送付したところ、相談員からスムーズに医師に繋げてもらい、初診初日、MRI検査を受ける事が出来た。結果、即日、免許センターに医師から連絡し、免許返納に向けて動くことができた。
- ・かかりつけ医から専門医へ繋いでもらうことができた。
- ・家族にシートを渡すことで、受診のための背中を押すことにつながり、今まで医療・介護につながっていなかった方を支援できた。
- ・主治医へ状況を報告した事で介護保険の申請がスムーズに行った。認知力の低下について報告する事で内容等を検討してもらえた。
- ・患者様の生活の様子等の情報をケアマネジャーと共有することができた。シートを用いて医師との情報の連携もスムーズに行え、診察の内容に反映させることができた。
- ・細かいことを一からすべて聞き直さないですむので楽である
- ・患者様の在宅での生活状況や生活歴などが事前に把握できるため、診察の場面や今後の課題解決・支援に活用できること。
- ・患者さんの多職種から見た情報がまとめられていて大変役立ちました。
- ・退院時の処方内容が分かる。
- ・介護度、ケアマネ、利用しているサービスが分かり、退院前にどこへ連絡すべきかが分かった。
- ・要介護認定に関する主治医の意見書を記入してもらうにあたり日常生活の状況を正しく理解してもらえた。
- ・初めての外来受診時、ご家族だけでは、ご本人の状況が説明できない場合、ポイントを記載する事で、円滑に治療に結びついた。こちらが返信を希望してなくても返信して下さる先生もいて、先生の所見がよくわかりとても有難かった。
- ・徘徊などの問題行動を医療機関に連絡することで、入院中の転倒事故を防ぐのに役立ったと思う。
- ・県のシートとしての認識と信頼性から回答を得やすい。
- ・受診に同行する際に事前にDrへ情報提供を行い薬の変更を御検討いただいた。(本人の前では伝え難いだったのでシートを使った)
- ・入院時の状況が判り、退院後の生活支援に繋げる事が出来た
- ・ケアマネとして助言を受けたい事の回答が頂け、その後の支援が円滑に行いやすくなった。

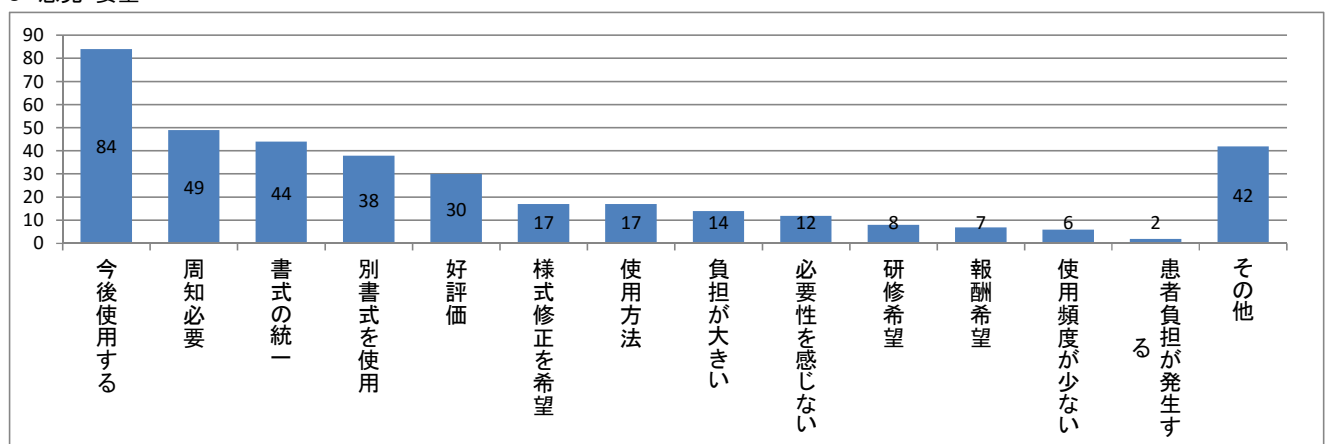
等

8 役に立たなかった例、困難が生じた例

- ・生活状況を医師に知ってもらい、診断、治療依頼の目的で発信したが、主治医からは返答がなく専門医の受診に繋がっていない。医療機関によってオレンジ連携シートの活用に積極的でなかったり理解が低かったりして十分に役立っていないように思われる。
- ・医療機関が連携シートの受信を必要としているのかが不明な時がある。医療機関から、「いない」と言われたことがある。
- ・病院がシートを知らずDrの手元までの過程等で連携が取り難かった。
- ・看護師さんに渡しましたが結局家族に聞き取りをし、ケアマネにも聞き取りがあり、せっかく記入したシートが活用されていないと感じました。
- ・オレンジシートを理解している病院や医師が殆んどいない。送っても返信がない。
- ・施設利用の際には別に診断書等が必要になるため二重の手間になる。
- ・記入する情報量が多く、用紙を使用する際に手間がかかる。
- ・地域生活連携シートや診療情報提供書等の情報が重複するため、内容の確認に時間を要する。
- ・PCを開いたり入力等が重複するため。手間がかかる。メールのやり取りでなく、紙ベースになる為管理も面倒。
- ・シートが存在をあらかじめ知っていて、カルテ内を意識して探さないと他の資料に埋もれ見つかりません。また字がつぶれ読みにくい時もあります。
- ・自筆の場面で読み取りにくいものがある

等

9 意見・要望



・オレンジ連携シートを「今後使用していきたい」との意見が84件と最も多く、「好評価」は30件で、計114件が好意的だった。

・オレンジ連携シートの様式や使用方法等について、今後一層の「周知が必要」との意見が49件だった。

・地域生活連携シート等の別シートと「書式を統一」して欲しいとの意見が44件、「別書式を使用」との意見が38件だった。

・「様式修正を希望」、「使用方法」、「負担が大きい」の書式についての不満・要望は、計48件だった。

・その他の意見は42件で、使用事例を知りたい等の意見があった。

【今後使用する】 84件

- ・今まで発信・受信をしたことがないが今後医療機関との連携において必要になってくると思うので利用を検討したい。
- ・今回様について知る機会になりました。機会を見て使用してみようと思います。
- ・多職種さんから情報を共有できれば薬を調剤するのにコンプライアンスをあげる工夫もできるかもしれないので活用してみたい。
- ・医師との連携の場合、直接診察に同行し、相談、指示等受けていました。必ずいつもそのようにはできないので、まずは使用・活用したいと思います。
- ・書式があると認知症利用者についてまとめやすいと思いました。今まで知らなかったこともあり情報いただきましてありがとうございます。
- ・多職種連携時、利用して行きたいです。全県域で使用出来る共通様式で支援関係づくりが出来ると安心です。様々な様式があってもいいと思います。利用しやすさは、さまざまと思うため。等

【周知必要】 49件

- ・最近、話題に出ることがなく、あるとのことを分からない人も多い。自分もホームページで知った。
- ・まだまだ認知度が低いので、広く知れ渡るようになるといいなと思っております。
- ・ケアマネからの連絡用としては良いが、病院からは返信いただけないことも多いので、そちらの面からもアプローチしてもらいたい。
- ・医療側のオレンジシートへの認知度が低い。もっと周知してもらいたい。等

【書式の統一を希望】 44件

- ・地域生活連携シートもあるので、複数の用紙になるのが手間。内容をまとめて1本化してほしい。
- ・いろいろなシートがあるので、もう少しまとめていただけると助かります。
- ・オレンジシート、連携シート、アセスメント表、各事業所独自の様式など各々でなく、統一された1種類のものになっていくと良いと思います。
- ・患者様の状況の応じて地域生活連携シートや診療情報提供と使い分けて使用するものだと理解するが様式がひとつのほうが実際の利用につながるのではないかな。
- ・地域生活連携シートや課題整理総括表、アセスメントなどどこでも利用できる一つのシートがあるといい。等

【別書式を利用している】 38件

- ・地域生活連携シートの内容と重複する箇所があり、普段より使用しているものを使ってしまう。
- ・オレンジ連携シートだと認知症の人限定になってしまう為、その他の既応症が原因での入院、入所が主になる為地域生活連携シート等を利用する回数が多くなっている。
- ・今回運用の留意点を再認識し説明同意や個人情報保護に注意を払わなければならない地域生活連携シート等の今使用している書式で良いかなと思いました。
- ・記載内容の重複が多くあるので(他の書類を含め)情報提供書等で代用することが多いです。等

【好評価】 30件

- ・老健入所相談の際にこのシートがあると助かると思います。
- ・電話だけでなくシートをやりとりの記録として残せるのは良いと思います。

【様式修正希望】 17件

- ・記入する欄を大きくしてほしい。字が読みにくい。
- ・口腔に関して記入項目がなく、訪問診察で携わっている歯科関係者がこの連携システムの名kに入るの難しいと考えています。
- ・記入欄の簡素化を希望します
- ・現在もしくは直近で担当していたケアマネの事業所名、担当者名があると良いと思います。
- ・家族の情報がしっかりとつかめるとさらにたすかる。
- ・本人の目の前だと言えない事等文書で伝えられ良いと思いますが認知症の問題行動記入に関し簡単に記入できた方が使いやすくなると思います。専門医に受診する事が難しい為受診する為の手法やアドバイス欄も欲しいと思います。
- ・千葉県内で共通の様式となるのであればアセスメントシートとして活用できるものにしてもらいたい。連携シートとしては非常にわかりやすいと思う。
- ・例えば新規の退院患者をケアマネする時オレンジ連携シートが届いて返信が不要になっていたとして、ただ、内容をもう少し確認したい場合こちらから連絡してもう少し聞くのは気が引ける様な感じがする。「不要」ではなく「どちらでも」がいいのでは。等

【使用方法について】 17件

- ・電カルの時代手書でのやりとりは労力もかかりもう少し電子化した方法が望ましいと思います。
- ・紙ベースの運用はしにくいです。電子化やICTとの連携ができれば効率的と考えます。
- ・ガイドラインなどアセスメントを不要又は認知症の人については、このシートがアセスメント同様の扱いなどとして頂けると助かります。
- ・使用にあたっては配慮すべきことも多くハードルが高い気がして使用することに慎重になります。等

【負担が大きい】 14件

- ・同意書をもらうのが難しい部分があります。
- ・用紙をみると結構細かいので情報を得る時は良いと思いますが実際に記入するとなると大変そうで気持ちが引いてしまいます。
- ・情報内容が細かすぎてしまい書く事を断念し、口頭で伝えてしまう事が多い。
- ・書類が多く活用できていません。等

【必要性を感じない】 12件

- ・今までもオレンジシートの存在を知らずに各機関とやりとりしてきているので特別にオレンジシートの必要性を感じません。千葉県内の様々な医療、福祉機関で共通して使うことになれば活用していく意味が出てくると思います。
- ・刻一刻と状況が変わるのに、適宜施設や全主治医から情報提供をもらったり職員が手診で情報とってくれるので、それほどなくても困っていないというのが現状です。
- ・現状で連携がとれており、必要性を感じない
- ・オレンジシートを使わなくても情報の共有ができています。等

【研修希望】 8件

- ・実際の運用を想定してどのように使用していくか又は実際の使用例を参考にトレーニング・研修の場を設けていただければ幸いです。
- ・研修会などあれば参加していきたいと思います。
- ・シートの記入方法の見本があれば記入方法に戸惑うことなく記入できると思います。また研修等も実施していただければ有効活用できる
等

【診療報酬等の請求ができるようなシートに修正希望】 7件

- ・診療報酬、介護報酬に直接反映されるとありがたい。
- ・診療報酬や介護報酬がとれると活用が広がるかもしれない。
- ・オレンジ連携シートを作成しても診療、介護報酬が無い為なかなか作成までに至らない
等

【使用頻度が少ない】 6件

- ・発信することはないが介護事業者より提供されれば返信することになっています。受け取る機会がまだまだ少ないようです。
- ・あまり広域で認識されていない(地域、使用者を含む)ため利用頻度が少ないと思います。
等

【患者負担が発生する】 2件

- ・利用者にお金が発生する場合、ツールを利用する事にハードルの高さを感じます。
- ・病院が運用をしらなかったのか、文書料がかかったケースもあると聞いたことがある(事実か不明)

【その他】 42件

- ・連携できる疾患一覧表みたいなものが時々送られるとうれしい。
- ・シートをもって来た場合には、その場で返信するように努めた。
- ・運用方法が分かりにくいので、成功例など実例を挙げて説明していただけると自分がどう発信してよいかわかると思う。
- ・シートの必要性は理解できるが、まだ、あたりまえに使う状況にはなっていないので残念です。まず、〇の機関から発信する場合は、このシートを必ず使う(片道でもよい)というようにしてはいかでしょうか。
- ・このようなツールは、医師又はケアマネジャーが使用し始めなければ浸透しないように感じます
- ・病院の先生がお忙しい中書類が届いてもなかなか記入する時間もないのかと感じました。医師との連携は直接訪問し、やりとりできるようにするしかないのかなとも思います。忙しさを配慮して書類を出しましたが、回答がなく結局結論が出ず大変でした。
- ・地域生活連携シートにオレンジシートの必要な部分を加えても良いと思います。
- ・オレンジシートと千葉県地域生活連携シートを比べて使用しやすいものを活用していきたい。
等